



柏原 要 議員
KANAME KASHIHARA



龍野IC周辺エリアの活性化

問 ①龍野IC南側区画整理と土師・南山土地区画整理事業の相違点・一致点は。②①の問題点・教訓は。③誘致の方策・活動は。

答 ①【相違点】龍野IC周辺は、商業施設等の誘導で、交流人口増加にぎわい創出を目的。土師・南山は、流通や高次生産施設と居住環境を整備。【一致点】IC周辺で幹線道路沿道の高い交通利便性。②【問題点】換地完了から組合解散まで約2年半を要し、個人所有の土地利用や売買が低調であった。【教訓】組合施行を想定、早期の事業完了と企業誘致を目指す。③組合設立準備段階で事業化パートナーを選定、商業・医療福祉・流通施設等の誘導を検討。

大学の誘致
問 ①大学との連携協力を増やす

しては。②学部や学科、サテライトオフィスや研究施設等を誘致しては。③JRRの駅・IC周辺も候補に誘致しては。

答 ①必要性を見極め検討。②大学機能の分散・部分移転は、教員・管理経費増大等、経営・運営上のリスクが大きく、相当な公費投入が無いと実現の可能性は低い。③商業施設やビジネスホテル等が適しており、大学は広大な用地を必要とし、採算が厳しい。

ポストコロナの観光振興

問 ①本竜野駅西側に、ビジネスホテル等をPPP・PFIで建設しては。②県道本竜野停車場線から国道179号線の沿線を景観形成地区に指定しては。

答 ①複合施設については、地元小宅地区住民の方と意見交換をしながら検討している。ビジネスホテル誘致は、赤とんぼ荘利用の進め方で大きく変わることを踏まえ、施策の方向性を検討したい。②県とともに景観形成の向上を図るが、現時点では、景観形成地区の指定申請まで思い至ってない。



堀 讓 議員
YUZURU HORI



コロナワクチン接種状況について

問 ワクチン接種が始まったが、社会的効果が得られるまでには一定の時間がかかる。迅速な対応が必要だが、接種会場、医師・看護師の確保等混乱は生じていないか。

答 高齢者対象の接種は、市内30力所の医療機関での個別接種と、公共施設8か所と医療機関3力所での集団接種を実施している。今後は、接種の加速化が求められるため、たつの市・揖保郡医師会の協力だけではなく、揖保歯科医師会への協力要請と市独自で、医師・看護師の確保を図っている。

問 副反応が出た場合の対応はどうか。また、その場合の医療機関は確保されているのか。

答 予診医師、接種看護師による対応と、救急機材や救急薬品の準備など、体制をとっている。

る。救急搬送が必要となった場合は、たつの市民病院、龍野中央病院、とくなが病院で対応できる体制をとっている。

問 ワクチン接種の今後の課題は何か。

答 12歳から15歳までの接種をどうするかと、集団接種会場の医師・看護師等の医療従事者の確保をどうするかが課題である。

補聴器の助成について

問 厚労省は、難聴になると認知症のリスクが高くなると発表した。今、中程度の難聴高齢者への補聴器購入の助成制度が広がっている。市はどうか。

答 身障手帳所持者の重度難聴者は、国の支援法により補装具費を支給している。18歳までの軽・中度難聴者は、県の補助を受け、「たつの市軽中度難聴児補聴器購入費等助成事業」に基づき、言語の習得、教育等における健全な発達を支援するため、補聴器購入の助成を行っている。加齢性難聴については、対象者の範囲が広く、市単独での実施は困難であると考えている。